REDCap ～かんたん用語集 v1.0～

臨床研究教育管理センター

2024/04/01

REDCap

【参考画面】

図 1

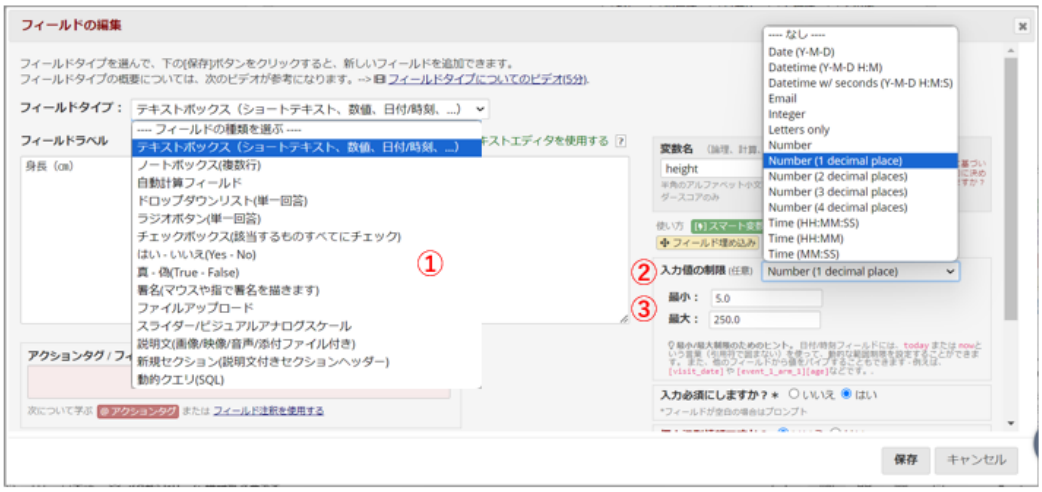


図 2

用語	参照番号	説明
英語		
CSV ファイル		Conma Separated File の略。通常は、ファイルの拡張子が、csv のテキストファイルである。テキストファイル内の各行に、個々のデータが、カンマ「,」で区切られて並べられたもの。１行目が、各データの名前を表すヘッダ行の場合が多い。 例）CSV ファイルの例 １行目: record_id,height,weight,age,smoke_yn ２行目: 10,176.5,67.8,46,1
Record ID		レコード ID を参照
REDCap		米国のバンダービルト大学が開発している臨床研究向けの電子的データ収集システム（EDC）の１つです。アカデミアでは、世界各国で広く利用されているシステムです。
Visit		イベントを参照
い		
イベント （Visit）		研究計画書で定義される「実施スケジュール」における登録前、手術前、来院１回目、来院２回目など、データを収集するための時期を表す契機。REDCap では、イベントの定義と、イベントとフォームの関連付けを行います。

え		
エクスポート	図１－⑥	REDCap で入力したデータを、CSV ファイルなどで出力する処理を、エクスポートと呼びます。左側のメニューの「レポート、データ出力、他」リンクをクリックして、「レポート＆エクスポート」画面を開き、「エクスポート」ボタンをクリックします。 よく利用される CSV 形式の場合は、変数名とフィールドラベルの２種類があります。形式が「変数名」では、１行目のヘッダ行のフィールド名が、変数名となり、２行目以降、各列の値は、データベース内に格納されている値が出力されます。形式が、「フィールドラベル」では、１行目のヘッダ行のフィールド名が、フィールドラベルとなり、２行目以降、各列の値は、フォーム上で表示されている値が出力されます。（性別の値）
お		
オンラインデザイナー	図１－①②	REDCap 上でフォームを作成したり、フィールドを定義するための構築用のツール。通常の REDCap の構築では、ほとんどこのツールを使用して、構築を行います。オンラインデザイナーは、左側のメニューから、プロジェクト構築⇒「プロジェクト構築」タブのオンラインデザイナーをクリックするか、左側のメニューの「デザイナー」ボタンをクリックします。

く

繰り返しフォーム

予め入力する回数が決まっていない項目の場合、フォームを繰り返し使用して、複数回入力することができる機能。

例）有害事象　⇒ない場合もあれば、複数回記録する必要がある場合

こ

コードブック　図１－③

プロジェクトで定義したフォームとフィールドの定義についての情報を一覧にまとめたもの。Web 画面上で表示させたり、PDF ファイルに出力することができる。コードブックを参照しながら、実際のデータの内容を確認することができる。（下図）

record_id,name,sex,……,sonohoka,height,weight,bmi,basic_complete
1,"六甲 太郎",1,1995-12-01,1,0,0,0,0,,170.5,80.4,1.9,2
2,"那覇 よしこ",2,2001-01-31,0,1,0,1,0,,162.3,75.0,2,2　CSVファイル

#	変数名(フィールド名)	フィールドラベル フィールドノート	フィールド属 など)
1	[record_id]	Record ID	text
2	[name]	名前	text, Required,
3	[sex]	性別	radio, Required 1 男性 2 女性

コードブック

す

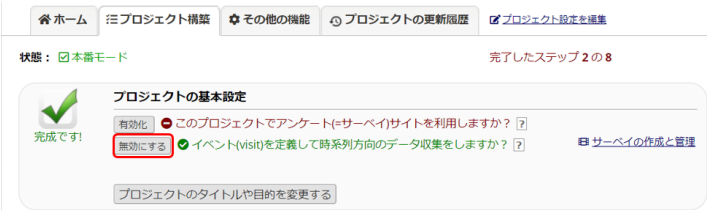
スケジュール

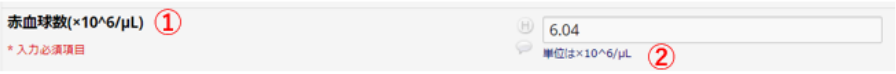
時系列方向にデータを収集する場合のそれぞれの収集機会の定義。

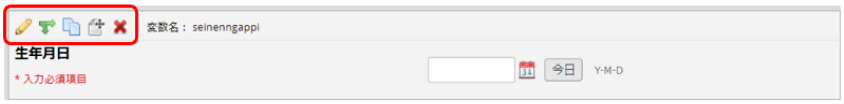
REDCap では、収集機会をイベントと呼び、イベントごとに収集する項目を定義したフォームとイベントとの関連付けを行うことで、スケジュールを定義する。

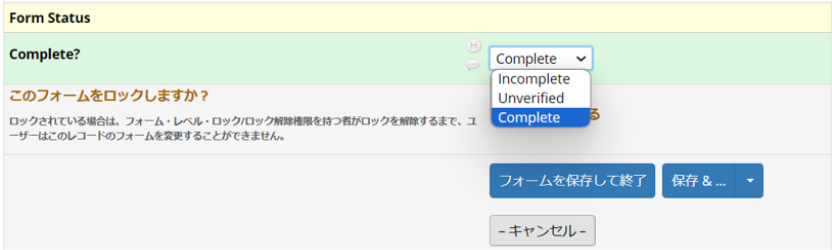
フォーム	受診1 (1)	受診2 (2)	受診3 (3)	受診4 (4)	受診5 (5)	受診6 (6)	受診7 (7)	受診8 (8)	中止_ds (9)
基本情報	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	
文書同意取得	✔								
適格性確認	✔	✔							
背景の確認	✔								
体重・握力　QOL	✔				✔			✔	
自覚症状・他覚所見	✔		✔	✔	✔	✔	✔	✔	

スケジュール、イベント機能を利用するには、「プロジェクト構築」タブの「プロジェクトの基本設定」で設定を行う必要がある。



て		
データベース		REDCap で作成したプロジェクトの内容、並びに、レコードのデータを格納するための物理的な領域。REDCap では、データを管理する DBMS（Data Management System）として、MariaDB（mySQL の一種）を使用しています。
な		
入力値の制限	図２－②③	フィールドのフィールドタイプが「テキストボックス」の場合、フィールドに入力可能なデータの型を定義する機能。 データ型には、日付型、整数型、数値型、浮動小数点型などがあり、データの上限、下限値を定義する事ができる。
ふ		
フィールド	左の図３	フォーム上の実際に値を入力するためのエリア  図3
フィールドタイプ	図２－①	フィールドに入力可能なデータのタイプに応じた名称 例として、テキストボックス、ラジオボタン、チェックボックス、ドロップダウンリスト、説明フィールド等がある。
フィールドノート	図３－②	入力用のフィールドの下に表示される説明用の文字列 例）単位は×10^6/μL
フィールドラベル	図３－①	フィールドの左側に表示される入力項目の名称 例）赤血球数(×10^6/μL)、収縮期血圧（mmhg）
フォーム		取り集める臨床データを入力するための REDCap 上の画面で、紙の症例報告書（CRF)に相当します。
プロジェクト		研究者が、REDCap 上で構築するすべての内容を格納、管理するための単位。多くの場合、研究単位にプロジェクトを作成し、その中にフォーム、イベントなどを定義、レコードを作成する。 例）○○を検証するための非盲検ランダム化比較試験
プロジェクト構築（タブ）	図１－①	REDCap で、プロジェクトの設定、構築を行うための様々な機能をまとめたダッシュボード。左側のメニューの「プロジェクト構築」リンクをクリック

		するか、右側のタブグループ（下図）から「プロジェクト構築」を選択する。 例）タブグループ
プロジェクトのモード		プロジェクトは、構築、運用状態を示すモードがあり、それぞれ、開発モード、本番モードと呼ぶ。開発モードは、プロジェクトが、構築中であることを意味し、本番モードは、プロジェクトが、実際に運用する段階であることを意味する。画面の左側に表示されるタブグループから、「その他の機能」をクリックすると、「プロジェクト状況管理」で、モードについての詳細な説明が表示されます。
分岐ロジック（ブランチングロジック）		フィールドを、ある条件が成立する場合にのみ表示したい場合などに、その条件を判定する式（ロジック）。ブランチングロジックとも呼ぶ。（編集ボタン参照）
へ		
編集アイコン		フィールドを編集したり、操作するためのアイコン フォームの編集画面で、フィールドの編集を行う フォームの編集画面で、分岐ロジックの定義、編集を行う フィールドのコピー　フィールドの移動　フィールドの削除 
変数		フィールドの値を格納する REDCap 内の格納領域を表す名前で、半角英数字で記述する 例）フィールド名（フィールドラベル）が「身長（cm）」の場合、変数名を「height」と定義するなど

ほ		
保存ステータス		**フォーム**を編集後、保存する場合の保存状態を示す値。 各フォームの最下部の保存ボタンの上に、ドロップダウンフィールド「Complete?」として表示され、ステータスを選択するようになっている。保存ステータスは、以下の３つがあり、運用でそれぞれの色（ステータス）の意味を決めておく。なお、未保存のフォームの場合は、レコード一覧では、○（無色）で表示される。 Incomplete: レコード一覧で●で表示される。編集中など Unverified: レコード一覧で●で表示される。編集内容確認中など Completed: レコード一覧で●で表示される。確認完了状態など 
も		
文字コード		REDCap を利用する上で、ユーザが文字コードを意識する必要があるのは、REDCap に入力したデータを CSV 形式でダウンロードする場合の文字コードと、REDCap にデータをアップロードする場合の文字コードの２つである。通常、この２つの文字コードは同じになる。
れ		
レコード	図１－⑤	REDCap に登録された１つの症例を表します。レコードは、左側のメニューの「レコード作成/編集」ボタンをクリックして、右側の画面で「新しいレコードを追加」をクリックすると作成することができます。（保存するまで、REDCap のデータベースには保存されません）レコードにある幾つかのフォームにデータを入力し、保存すると新たなレコードが REDCap 内に作成されます。

レコード一覧	図１－④	左側のメニューで、レコード一覧ボタンをクリックすると表示される。すでに登録されたレコード（症例）が、Record ID、レコードに含まれるフォーム、フォームの保存ステータスと共に一覧形式で表示されます。
レコード ID（Record ID）		レコードを一意に識別するための ID で、特別な変数の１つ。レコードを新規に作成すると、自動的に 1,2,3,4…と番号が付けられます。設定によって、自動採番ではなく、手動で入力するように設定することも出来ます。 例）RYUDAI-001, URASO-002 など レコード ID は、フォームの一覧で最初に表示されるフォームの最初に表示されるフィールドの変数で、削除することは出来ません。（表示名を変更することは可能です。）
ろ		
ロジカルチェック		フィールドの入力値に対して、データ型、最大値/最小値、ロジックによる値のチェックを行うことで、不正なデータが入力されないようにする仕組み。 REDCap では、フィールド編集時とクオリティチェックと呼ばれるロジックによるチェックをフィールド入力時に適用する２種類の実装法がある。 【フィールド編集時のロジカルチェック（その１）】 フィールドの編集画面で、様々な方法で、入力値に対する制約を設定する

フィールドの編集
フィールドタイプを選んで、下の[保存]ボタンをクリックすると、新しいフィールドを追加できます。
フィールドタイプの概要については、次のビデオが参考になります。--> フィールドタイプについてのビデオ(5分)
フィールドタイプ： テキストボックス（ショートテキスト、数値、日付/時刻、...）
フィールドラベル
リッチテキストエディタを使用する
身長（cm）
変数名 （論理、計算、およびエクスポートで利用される）
height
半角のアルファベット小文字、数字、およびアンダースコアのみ
使い方 スマート変数 パイプ(データ値の代入)
フィールド埋め込み
入力値の制限 (任意) Number (1 decimal place)
最小： 5.0
最大： 250.0
---- なし ----
Date (Y-M-D)
Datetime (Y-M-D H:M)
Datetime w/ seconds (Y-M-D H:M:S)
Email
Integer
Letters only
Number
Number (1 decimal place)
Number (2 decimal places)
Number (3 decimal places)
Number (4 decimal places)
Time (HH:MM:SS)
Time (HH:MM)
Time (MM:SS)
アクションタグ / フィールド注釈 (任意)
@FORCE-MINMAX
次について学ぶ @アクションタグ または フィールド注釈を使用する
入力必須にしますか？
様々な入力動作を規定
最大/最小を指定
日付の場合は、2023-11-13などで指定
または、todayや[ic_date] を指定する
データ型を指定